

アートラボはしもとの再整備事業に係る 優先交渉権者の選定について

アートラボはしもとについては、寄贈された民間施設を活用し、美術施設として運営してきましたが、近年、設備等の老朽化が著しい状況となっています。こうした状況を踏まえ、アートラボはしもとでの先進的・実験的な事業展開により蓄積されたノウハウを生かし、アートを通じたコミュニティの形成やまちのにぎわいづくりを推進するとともに、再整備に係る財政負担の軽減を目的として、アートラボはしもと後継施設と民間施設が併設する複合施設の整備を行うため民間事業者を公募したところ2者から応募がありました。この度、民間事業者から提出された企画提案書及びプレゼンテーションについて有識者で構成する「相模原市アートラボはしもと再整備事業審査委員会」において審査を行った結果、次のとおり優先交渉権者を選定しましたので、お知らせします。

1 優先交渉権者

株式会社ファジー・アド・オフィス

※ 次点交渉権者

B 社（優先交渉権者以外は匿名）

2 事業対象地

所在・地番:相模原市緑区大山町403番65



建設イメージ図

3 優先交渉権者の主な提案内容

項目	内容
基本方針	アートを通じた「ひとづくり」「ものづくり」「まちづくり」に貢献する総合住宅展示場 ①「ひとづくり」… モデルハウス及び施設全体を通じて地域の若手アーティストを支援するとともに、地域の企業や美大生に活動の場を提供しアートに関わる人材育成に貢献 ②「ものづくり」… 地域のアーティストや講師による集客イベントを通じて幅広い世代の市民がアートを体験する場として活用。本施設での体験をもとに施設内にとどまらず、アートの教育普及活動に寄与 ③「まちづくり」… 後継施設を中心にアートに関わる市内各地のコミュニティと連携。アート活動の場として浸透を図り、市民がいつでもアートにふれることができる街並みを設計
事業 コンセプト	【アソビノアトリエ】 暮らしの中で自然とアートを体現できるモデルハウスやライフスタイルを「アソビ」を通じて発信。住宅展示場機能に加え、アートへの関心を高める機能を付加することで幅広い世代の市民が発見や学びを感じる交流拠点を目指す
整備内容	インフォメーションセンター、モデルハウス、アートラボはしもと後継施設を含む総合住宅展示場を整備
導入機能 連携方策	・モデルハウス内での美術作品展示、アートを通じた子ども部屋コーディネート ・子育てファミリー層向けイベントの定期開催 （親子向けステージショーやワークショップ等の開催） ・子育てママによるカルチャースタジオの運営
借地期間	20年

4 審査方法

優先交渉権者及び次点交渉権者の選定は、事務局による書類確認及び審査委員会による審査から構成し、内容審査 400 点、価格審査 100 点の計 500 点満点を評価点として総合審査を実施しました。

なお、審査委員会による審査の結果、全ての応募者の得点が 300 点を下回る場合は、優先交渉権者及び次点交渉権者の該当者はなしと設定しました。

5 審査結果

	配点	株式会社ファジー・アド・オフィス (優先交渉権者)	B 社 (次点交渉権者)
評価点	500点	400.2 点	310.9 点

6 審査委員

委員名		肩書
委員長	川崎 一泰	中央大学総合政策学部教授
副委員長	森脇 裕之	多摩美術大学美術学部情報デザイン学科教授
委員	霧生 卓	公認会計士
委員	佐藤 慎也	日本大学理工学部建築学科教授
委員	福永 裕子	税理士
委員	山岸 綾	中部大学工学部建築学科准教授、一級建築士事務所サイクル・アーキテクト代表
委員	山口 有次	桜美林大学ビジネスマネジメント学群教授

(敬称略、委員は五十音順)

7 今後の予定

市は優先交渉権者との基本協定及び基本契約の締結に向けた協議を開始します。

ただし、優先交渉権者との交渉が不調に終わった場合は次点交渉権者に事業契約の締結に係る協議を申し入れる予定です。

また、アートラボはしもと後継施設部分に係る内装設計に向けて、令和4年度中に内装設計業務委託に係る公募型プロポーザルを実施し、最優秀者を選考した後に詳細な建設協議を実施する予定です。

なお、「相模原市アートラボはしもと再整備事業審査委員会」における審査の経過及び詳細な結果等を取りまとめた審査講評は、後日公表します。

【問合せ先】
文化振興課
電話 042-769-8202